

公開質問状への各候補者からの回答

令和3年4月22日

私ども青少年養育支援センター「陽氣会」では、名古屋市を中心に児童虐待防止活動を展開しております。この度の名古屋市長選挙において、名古屋市長選立候補者(4名)に公開質問状を送付し、益々深刻化しつつある名古屋市内における児童虐待を防止する対策についてどのようにお考えになっているかお考えを伺いました。

その結果、4名全員から期日(4月22日)までに回答が届きましたので、その回答を掲載いたします。

公開質問状の質問は以下の三点についてです。増え続ける児童虐待により多くの子どもたちの心や身体、そして人生に大きな傷を負わせています。また、その対策に投じる公費や人員も、この財政難・人出不足の中、増加の一途を辿っています。要保護児童となった子ども達を養育する上でも、莫大な公費が投入されています。そして虐待の連鎖と言われるように、被虐待の経験をした子どもが親になり、今度は児童虐待の加害者になるという悲しい現実も決して少なくありません。こうした児童虐待の及ぼす社会的損失を阻止する上で、今後の名古屋市における児童虐待対策のあり方に関する重要な質問事項となっております。

《質問内容》

以下の質問につきまして、現在のお考えに最も近い内容を各選択肢からお選びいただき、○をつけてください。〈自由記述欄〉へはこの取り組みに関するより具体的な目標や期間などのご記入をお願いします。

※ひとつの質問につき最も当てはまるものを一つお選びください(複数回答不可)。

《質問1》

児童虐待はいけない！というだけで、子どもへの虐待が減るものではありません。叩く・怒鳴るという虐待以外の子育ての仕方を保護者にちゃんと学んでもらう必要があります。親の虐待により一時的に児童相談所に保護された子どもを、ある一定の条件を満たしたという児童相談所の判断により家に戻すにあたり、その保護者に二度と同じような児童虐待を再発させない為に、怒鳴る・叩く以外の子育ての仕方を学んで

もらう名古屋市独自の事業である「保護者支援事業」のような児童虐待再発防止に向けた取り組みを、さらに拡充することについてのご意見をお聞かせください。

| | |
|---|-----------------------------------|
| 0 | 「保護者支援事業」に関する関心はない。 |
| 1 | 「保護者支援事業」は現状のままでよい。 |
| 2 | 「保護者支援事業」の取り組みの拡充に向けた検討を今後すべきである。 |
| 3 | 「保護者支援事業」の取り組みを今後ぜひ拡充すべきである。 |

《自由記述欄》

《回答1》

| 候補者名 | 選択 | 自由記述 |
|-------|--|---------------------------------------|
| 太田敏光 | 2 : 「保護者支援事業」の取り組みの拡充に向けた検討を今後すべきである。 | なし |
| 押越清悦 | 2 : 「保護者支援事業」の取り組みの拡充に向けた検討を今後すべきである。 | なし |
| 河村たかし | 2 : | 児童虐待は絶対にあってはならない。子どもを一人も死なせないナゴヤのもと、子 |

| | | |
|------|-----------------------------------|---|
| | 「保護者支援事業」の取り組みの拡充に向けた検討を今後すべきである。 | 子どもの権利を守るための支援をしっかりとやっていきたい。常勤スクールカウンセラーのさらなる拡充にも取り組んでいく。その中で親御さんの子育ての悩みを聞き応援すること、子育ての仕方を学んでいただくことは大変重要である。是非具体的な内容をご提案ください。そのうえで検討を致します。 |
| 横井利明 | 3 : 「保護者支援事業」の取り組みを今後ぜひ拡充すべきである。 | 全国を見渡しても独自の活動として児童相談所における虐待再発防止の活動をされていると伺い、頭が下がる思いです。是非拡充して名古屋の子どもたちの命を守る活動を続けていただきたい。 |

《質問2》

親がちょっとした子育てのコツを知ることで、子育ては随分とイライラしなくなるものです。しかし、現代社会においてほとんどの家庭が夫婦のみ、もしくは一人の親が子育てに孤軍奮闘しています。中には一生懸命になり過ぎるあまり、空回りをして子育てでイライラしてしまっている親御さんも少なくありません。イライラが募りつつ子どもを怒鳴ったり手をあげてしまいそうになったりしている保護者に対し、名古屋市全域で児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」のような児童虐待発生予防のための子育て中の親を支援する子育て講座を拡充することについてのご意見をお聞かせください。

| | |
|---|--|
| 0 | 児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」に関する関心はない。 |
| 1 | 児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」は現状のままでよい。 |
| 2 | 児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」の取り組みの拡充に向けた検討を今後すべきである。 |
| 3 | 児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」の取り組みを今後ぜひ拡充すべきである。 |

《自由記述欄》

| |
|--|
| |
|--|

《回答2》

| 候補者名 | 選択 | 自由記述 |
|-------|---|--|
| 太田敏光 | 2 : 児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」の取り組みの拡充に向けた検討を今後すべきである。 | なし |
| 押越清悦 | 3 : 児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」の取り組みを今後ぜひ拡充すべきである。 | なし |
| 河村たかし | 2 : 児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」の取り組みの拡充に向けた検討を今後すべきである。 | 名古屋市では「イライラしない子育て講座」を開催しており、昨年度は10分程度の動画で7回のテーマに分けて配信もさせていただいている。より多くの方に受講していただくことは大切だと思っている。そのために必要なことがあるのであればぜひご提案ください。そのうえで検討を致します。 |

| | | | |
|------|-----|---|---|
| 横井利明 | 3 : | 私も保育園の経営者として、長年多くの子どもたちの成長に携わってきました。その児童虐待を予防する子育て講座「イライラしない子育て講座」の取り組みを今後ぜひ拡充すべきである。 | 私も保育園の経営者として、長年多くの子どもたちの成長に携わってきました。その中で、特に母親の孤独による「イライラ」が原因での虐待ケースはふえているように思います。名古屋で生まれた「イライラしない子育て講座」のような子育て講座を学ぶことで虐待の予防につながったり、一緒に学ぶ仲間のコミュニティーができれば、母親の孤立の緩和につながるし、是非、拡充すべきと考えます。 |
|------|-----|---|---|

《質問3》

(1)(2)の事業・取り組みを拡充するために、どのような資金繰りを想定しておられますか？また、その資金繰りの中に民間資金を活用する SIB (Social Impact Bond) 等の手法を活用する可能性についてご意見をお聞かせください。

| | |
|---|--|
| 0 | (1)(2)の事業・取り組みの拡充に関心がない |
| 1 | (1)(2)の事業・取り組みの拡充を税金によって捻出する。 |
| 2 | (1)(2)の事業・取り組みの拡充をふるさと納税等により捻出する。 |
| 3 | (1)(2)の事業・取り組みの拡充を、民間資金を活用する SIB の手法により捻出する。 |
| 4 | (1)(2)の事業・取り組みの拡充を、上記の方法を含むいくつかの組み合わせによって捻出する。 |
| 5 | (1)(2)の事業・取り組みの拡充を、上記以外の別の方法によって捻出する。 |

(1) 《自由記述欄》

| |
|--|
| |
|--|

《回答3》

| 候補者名 | 選択 | 自由記述 |
|-------|---|--|
| 太田敏光 | 1 : (1)(2)の事業・取り組みの拡充を税金によって捻出する。 | なし |
| 押越清悦 | 3 : (1)(2)の事業・取り組みの拡充を、民間資金を活用する SIB の手法により捻出する。 | 利益追求型の事業にならないことが前提でたらいいと思う |
| 河村たかし | 4 : (1)(2)の事業・取り組みの拡充を、上記の方法を含むいくつかの組み合わせによって捻出する。 | 予算化については担当局、財政当局とも相談して進めていければと思っている。ご質問いただいております「ふるさと納税」、「SIB」を活用した事例等あるのであれば、ぜひご提案ください。 |
| 横井利明 | 4 : (1)(2)の事業・取り組みの拡充を、上記の方法を含むいくつかの組み合わせによって捻出する。 | SIB は私の市長選の公約にも掲げていることです。私の仕事はお金の流れを変えて名古屋を良くしていくことだと思っている。民間の資金、知恵、力を活用して、しかも成功報酬型の仕組みである SIB は欧米では広く社会問題解決のため用いられている。児童虐待防止の活動にもその可能性があるのなら、是非検討して、実現の可能性を探るべきと思う。 |

以上